

イースターメッセージ

慰めと希望のイースター

高橋貞二郎

(東洋英和女学院学院宗教部長・中学部高等部聖書科教諭)

教会では、毎年イースターを祝います。最近は、テーマパークをはじめとして色々なところでイースターのイベントも行われています。イースターとはいったい何を祝う日なのでしょうか。

起源は 2000 年前に遡(さかのぼ)ります。聖書によるとイエス・キリストは、私たちが犯した罪の罰の身代わりとして、私たちのために十字架につけられて死なれました。ですが、死んだままではありませんでした。三日目に復活されたのです。そして、弟子たちの前に現れたのです。死者の復活などないと思っていた弟子たちは、復活されたイエス・キリストを見てとても喜びました。その後、弟子たちは主イエスの復活の証人として全世界に出て行きます。そして、神がイエス・キリストを復活させられたように、私たちをも復活させてくださると伝えたのでした。このメッセージは、愛する人を天に送った全ての人たちに大きな慰めと希望、そして生きる勇気を与えました。

イースターは、このようにイエス・キリストが復活されたことを記念し、私たちも同じように復活することを覚えてお祝いをする日なのです。

ところで、イースターをめぐって皆さんにぜひ知っていただきたいことがあります。それは人が亡くなって体が見えなくなっても、その人がいなくなってしまうわけではないということです。

例えば、飛行場で滑走路から飛び立つ飛行機を見ていると、しばらくして飛び立った飛行機は私たちの目には見えなくなってしまう。だからと言ってその飛行機が消滅してしまったわけではありません。飛行機もそこに乗っている人たちも確かに存在しています。そして、目的地に向かって進んでいるのです。

私たちにも同じことが言えます。私たちの肉体は病気や死によって朽ちてしまうかもしれません。そして肉眼では見ることができなくなってしまうかもしれません。ですが、だからと言ってその人がいなくなってしまうのではないのです。確かに存在して、時が来ると輝かしい体によみがえらされるのです。

聖書には「神は、主を復活させ、また、その力によってわたしたちをも復活させてくださいます。」(コリントの信徒への手紙一 6章14節)と記されています。その通り、わたしたちも復活します。そして、復活させてくださった神をほめたたえる時がやってきます。そう、もう一度愛する人と再会し、共に神に感謝して礼拝する時がやって来るのです。イースター、それは私たちと無関係なものではなく、私たちに慰めと揺るぎない希望を与えるものなのです。

今年のイースターが、皆さんにとって慰めと希望に満ちた時となりますようお祈り申し上げます。